

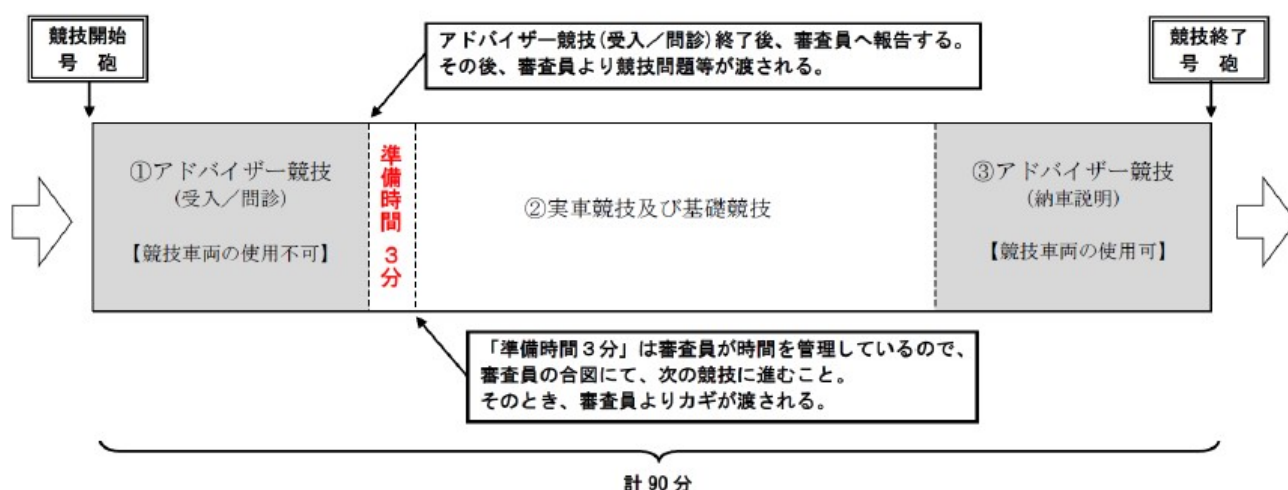
= 業界情報 =

第22回全日本自動車整備技能競技大会応援募集について

- ◇ 開催日 11月9日(土)
- ◇ 場 所 東京ビックサイト 西3・4ホール
- ◇ 集合出発 5:50(振興会集合) 6:00出発
- ◇ 交通手段 大型貸切バス
- ◇ 開会式 8:30~9:00
- ◇ 競 技 (Aブロック) 9:05~10:35
(Bブロック) 11:30~13:00 山梨県チーム
- 表彰式 14:30~15:00

山梨県代表選手 南巨摩北支部 中澤 茂 選手((有)中沢モータース)
 高松 良和 選手(高松自動車整備工場)

第22回大会の競技の流れ



- ◇ 申込期限 下記、応援参加申込書に必要事項をご記入の上、9月30日(月)までに、教育課へFAX(055-263-4420)にてお申込下さい。
詳細は参加者に追ってご連絡いたします。

全日本自動車整備技能競技大会応援参加申込書

認証番号	8 -	支部名	支部
事業場名			
参加者名			

その先の、技術へ。



第22回

全日本自動車整備技能競技大会

2019年11月9日(土) 8:30~15:00 (予定)

東京ビッグサイト 西3・4ホール

競技内容

実車競技 / 基礎競技 / アドバイザー競技

一般観覧
無料

主催：一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会

協力：日本自動車整備商工組合連合会

第47回「整備需要等の動向調査」結果の概要について

標記「整備需要等の動向調査」の結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

1. 目的

本調査は、自動車整備事業場における整備需要等の動向について、直近の6ヶ月間における業績及び向こう6ヶ月間の業績予想を把握することにより、自動車整備業界の発展に資するために平成8年7月から半年毎に実施しているものである。

2. 調査時期及び調査地区

- ・ 調査時期 : 令和元年7月
- ・ 調査地区 : 全国

3. 調査対象及び回収数

- ・ 調査対象 : 専門の認証 (回収数 248)
- : 専門の指定 (回収数 395)
- : ディーラーの指定 (回収数 319)
- 回収合計962

4. 調査結果の概要

1. 今回の調査は令和元年7月時点の調査（平成31年1月～令和元年6月の6ヶ月間）であり、次の点に注目する必要がある。
 - ・ 実質GDP成長率（内閣府・1次速報）は、対前期比1～3月期+0.7%、4～6月期+0.4%。（名目GDP成長率は、対前期比1～3月期+1.0%、4～6月期+0.4%）
 - ・ 家計調査による消費支出（総務省・総世帯・2四半期合計）は、対前年同期比+2.2%。自動車維持費は+4.8%であり、自動車整備関連では自動車等部品・関連用品+0.5%、自動車整備費+8.9%。
 - ・ 景気動向指数の基調判断（内閣府・CI一致指数）は、「下方への局面変化」（1～2月）→「悪化」（3～4月）→「下げ止まり」（5～6月）。
2. 今期（平成31年1月～令和元年6月）の総整備売上高DI、総在庫台数DIは共に、前期に対し上昇。
 - ・ 業態別でも、両DI共に全ての業態で上昇。
 - ・ 米中の貿易摩擦の影響等により輸出や生産の弱さが続いているものの景気は緩やかな回復基調にあり、個人消費は持ち直している。自動車整備関連の支出も増加していることから、法定需要（車検、定期点検）に加え、その他整備（臨時整備、一般整備、消耗部品の交換、用品取付け等）の需要も増加したことが考えられる。
 - ・ 特に専門指定とディーラーについては、継続検査台数が増加（※下表の②エコカー補助金、④消費増税前の駆け込み需要の影響による）し、車検整備売上高が増加したことが考えられる。

※ 継続検査対象台数は保有台数と相関があり、近年は1年おきに山・谷を繰り返している。
 ①リーマンショック（H20/9）、②エコカー補助金（H21/4～H22/9、H23/12～H24/9）、③東日本大震災（H23/3）、④消費税増税（H26/4）、⑤軽自動車税増税（H27/4）等による新車販売台数の増減の影響による。

3. 来期（令和元年7月～12月）の業績予想では、総整備売上高D I、総在庫台数D Iは共に、前期に対し低下。
- ・業態別でも、両D I共に全ての業態で低下。
 - ・主な要因としては、景気の先行き不透明感に加え、整備需要のベースとなる継続検査台数の減少（※上表の①リーマンショック、②エコカー補助金終了後の反動減、④消費税増税による新車販売台数減の影響による）が想定されるためと推測される。
4. 整備業界全体の景況感D Iは低下。
- ・業態別でも、全ての業態で低下。
 - ・景況感D Iは、リーマンショックの影響があった第26回（平成21年1月調査）を底に上昇傾向にあるもののD I自体は大幅なマイナスを続けており、過半数以上の事業者は依然として業界の景気は悪いと感じている。

検査予約無断キャンセル状況（8月分）

検査予約実施要領7項に基づく、8月のキャンセル多発者は次のとおりです。
 予約の申し込みとキャンセルには、十分な配慮とご協力をお願い致します。

事業場名	認証	支部	キャンセル日	種別	ラウンド	台数
RATED	8-1415	東八	8月28日（水）	普通車	3R	2台

なお、業務委員会では、予約情報を共有し安定した予約制度とするため、検査前日の18時以前に予約が取り消された件数を会報に掲載することとしましたのでお知らせいたします。

8月分のキャンセル件数は次のとおりです。

（台）

普通車	290
軽自動車	722
合 計	1,012

山梨県立峡南高等技術専門校からのお知らせ

富士川町にある峡南高等技術専門校では、令和2年度の2級自動車整備士を目指す自動車整備科等の訓練生を募集します。

I 募集定員等

科 名	定 員	訓 練 期 間
自動車整備科	25名	2年間（令和2年4月～令和4年3月まで）

II 一般入校応募資格（自動車整備科）

高等学校を卒業した者（令和2年3月卒業見込者を含む。）又は、これと同等以上の学力を有する者で、令和2年4月1日現在の年齢が、概ね35歳以下の求職者の方。

III 試験日程（一般前期試験）

受付期間	選考日	合格発表日
令和元年9月20日（金） ～10月4日（金）	令和元年 10月21日（月）	令和元年 10月28日（月）

IV 選考科目

摘要	推 薦 入 校	一 般 入 校
試験科目	○ 面接試験	○ 数 学 （高校1年程度までの内容を含む） ○ 国 語 （高校1年程度までの内容を含み、古文・漢文を除く） ○ 面接試験

V 授業料等

項 目	区 分	普通課程[自動車整備科・電気システム科]
入校検定料	1回	2,200 円
入 校 料	1回	5,650 円
授 業 料	年間	118,800 円

（注）

※ 金額は、今後改定される場合もあります。

※このほか、教科書、作業服、資格取得経費等の自己負担があります。

※自動車整備科の他、電気システム科（1年課程）も募集しております。

☆詳しくは、下記担当課までお問い合わせください。

山梨県立峡南高等技術専門校 訓練課

〒400-0501

山梨県南巨摩郡富士川町青柳町 3492

TEL (0556) 22-3171

FAX (0556) 22-3172

E-mail kgisen-kn@pref.yamanashi.lg.jp

峡南技専

検索



全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.92

【内容】 オープンカーの幌に様々な整備不良が見つかった

- ・ 車名：輸入車 ・ 登録年月：平成14年 ・ 走行距離：不明
- ・ 相談日 平成30年12月20日

月20日、オープンカーの幌が破けてしまったので、工場に持ち込んだ。整備完了後に以下の問題点が見つかった。

- ・ 屋根（幌）がずれていて、若干サイズが小さくなっている。
- ・ 雨漏りがひどい。
- ・ 幌が完全に閉まらず、チェックランプがついている。
- ・ 整備時に無理に閉めてしまったらしく、プラスチックの部品が破損し、接着剤で仮止めしている状態。（このプラスチック部品は現状国内にはなく、本国のメーカーに相談中とのこと）

車持ち込み時には、「自社で整備はできます」との回答だったが、整備完了後に上記問題点が見つかり工場に問い合わせたところ、「自社ではこれ以上の整備はできない」との回答だった。

しかしながら、雨漏りが特にひどいため再度整備を要望するも、「ディーラーに持って行ってくれ」の一点張りでも何に対応してくれなかったとのこと。

さらに、保険を使って料金を受け取っている形にも不満があるようで、結局整備ができなかったのだから料金は返して欲しいとの相談。

【対応】

話が平行線になるようであれば、弁護士をたてて両方で話し合って貰うようお願いをした。

工場とディーラーの見解を聞こうとするも、相談者側で原因追及してみるのも、電話はしないでくれとのことだった。

<12月25日 追記>

両方で話し合いをしたところ、今回の整備料金については全額返金され他の工場で整備して貰う形で話をしたようだが、相談者は納得がいけない様子で今後は弁護士をたてていくつもりとの内容で相談は終わった。

また、最終的に工場に話を聞くと、今回のプラスチックの部品については、もうすでに半壊している状態で整備の為に動かさざるを得なかったため、やむをえず許可を取り交換をした方が良い旨説明をしたが、拒否されそのままの状態となっていたとのことだった。両方で、説明があったかどうかの当時の見解が食い違っていた。

エンジンオイルおよびオイルフィルターの 定期的なメンテナンスについて注意喚起のお願い

日産自動車株式会社

(1) エアコンコンプレッサ(以下コンプレッサ)新品交換時、(2) エアコン冷媒ガス充填時、(3) エアコンベルト交換及び調整時において、まれに不具合事象が発生する場合があります。エアコンの整備作業を行う際の注意事項について、以下にお知らせします。

■概要

エンジンオイルやオイルフィルターが定期的に交換されなかったことによるエンジン破損や車両火災などが発生しています。

エンジンオイル、オイルフィルターの交換が適切に行われない場合、潤滑性能が低下してエンジン内部の部品が損傷し、その後にエンジンオイル、オイルフィルターを交換しても部品の損傷は解消できません。

エンジンオイル、オイルフィルターの交換頻度については、メンテナンスノートにてご案内しておりますが、車両を長期に安心してお使いいただくために、下記の事項について今一度お客さまにご案内いただくようお願いします。

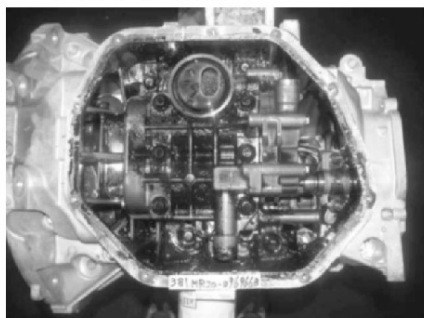
■点検・整備の注意点

1. エンジンオイル、オイルフィルターは、新車購入時から継続して適切な頻度で交換してください。
尚、交換時期は、車種やお客さまの使用状況により異なりますので、車載のメンテナンスノートをご参照ください。
2. エンジンオイルの著しい減少や劣化、エンジンの異音や不調が確認された場合は、点検を受け適切に修理をしてください。

<劣化したエンジンオイル>
-シリンダーヘッド内部



-オイルパン内部



<エンジン焼損状態>



<火災車両>



= 統 計 =

普通車・軽自動車継続検査件数

7 月

	合 計	指 定					持 ち 込 み				
		保 適		OSS		指定割合(%)	認 証		ユ ー ザ ー		持込割合(%)
		件数	割合(%)	件数	割合(%)		件数	割合(%)	件数	割合(%)	
普通車	16,567	7,814	47.2%	4,023	24.3%	71.4%	3,699	22.3%	1,031	6.2%	28.6%
昨年同月	14,777	9,042	61.2%	1,490	10.1%	71.3%	3,385	22.9%	860	5.8%	28.7%
昨年同月増減	1,790	-1,228		2,533			314		171		
軽自動車	11,596	6,217	53.6%	635	5.5%	59.1%	3,757	32.4%	987	8.5%	40.9%
昨年同月	10,576	6,281	59.4%			59.4%	3,448	32.6%	847	8.0%	40.6%
昨年同月増減	1,020	-64					309		140		
合 計	28,163	14,031	49.8%	4,658	16.5%	66.4%	7,456	26.5%	2,018	7.2%	33.6%
昨年同月	25,353	15,323	60.4%	1,490		66.3%	6,833	27.0%	1,707	6.7%	33.7%
昨年同月増減	2,810	-1,292		3,168			623		311		